

第3章

本市における自殺の現況 Present Situation

1 自殺者数と自殺死亡率の推移

本市の自殺者数は、平成22年から平成27年においては、**人口動態統計と自殺統計** **補足1** とともに、**11人をピークに減少傾向**にあります **図3**。また、自殺統計において、平成25年から平成29年の5年間をしてみると、**自殺者数合計は18人（男性15人・女性3人）、平均自殺者数は3.6人、平均自殺死亡率は22**となっており、平均自殺死亡率は、全国・鹿児島県より高い数値を示しています。 **図4**

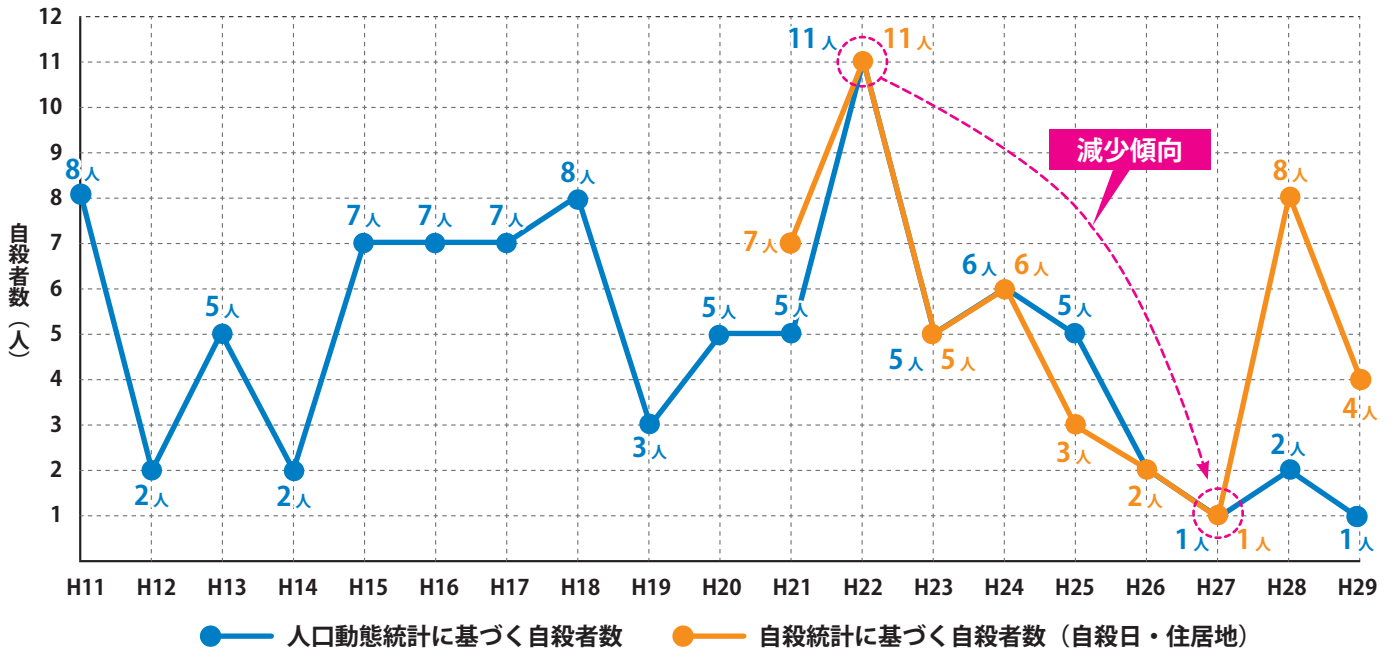
補足1

人口動態統計

自殺統計 → P6 参照

◆図3 / 本市の自殺者数の推移

◎出典 / 地域自殺実態プロファイル (2018 更新) 「長期的な推移 (P4)」・「付表6 長期推移 (P15)」



◆図4 / 全国・県・本市における5年間（平成25年～平成29年）の自殺統計（自殺日・住居地）の推移・平均値

◎出典 / 地域自殺実態プロファイル (2018 更新) 全国・県・垂水市「全般的な状況 (P3)」

区分	自殺統計	H25	H26	H27	H28	H29	合計	平均
全国	自殺者数 (人)	27,041	25,218	23,806	21,703	21,127	118,895	23,779
	自殺死亡率	21.1	19.6	18.6	16.9	16.5		18.5
鹿児島県	自殺者数 (人)	403	371	336	289	292	1,691	338.2
	自殺死亡率	23.7	21.8	19.9	17.2	17.5		20.0
垂水市	自殺者数 (人)	3	2	1	8	4	18	3.6
	自殺死亡率	17.7	12.0	6.1	50.0	25.6		22.0

2 5年間における性別・年代別の自殺者数と自殺死亡率

平成25年から平成29年の5年間において、自殺統計（自殺日・住居地）から自殺者数合計を性別で見ると、全国・鹿児島県同様に、**男性の方が割合が高く、男性割合は83.3%、女性割合は16.7%**となっています。**図5**

また**男性割合は、全国・鹿児島県よりも高い割合**であることを示しています。

平成25年から平成29年の5年間において、自殺統計（自殺日・住居地）から性別・年代別の自殺者割合を見てもみると、**60代男性の割合が最も高く22.2%、次いで50代男性が16.7%**となっています。**図6**

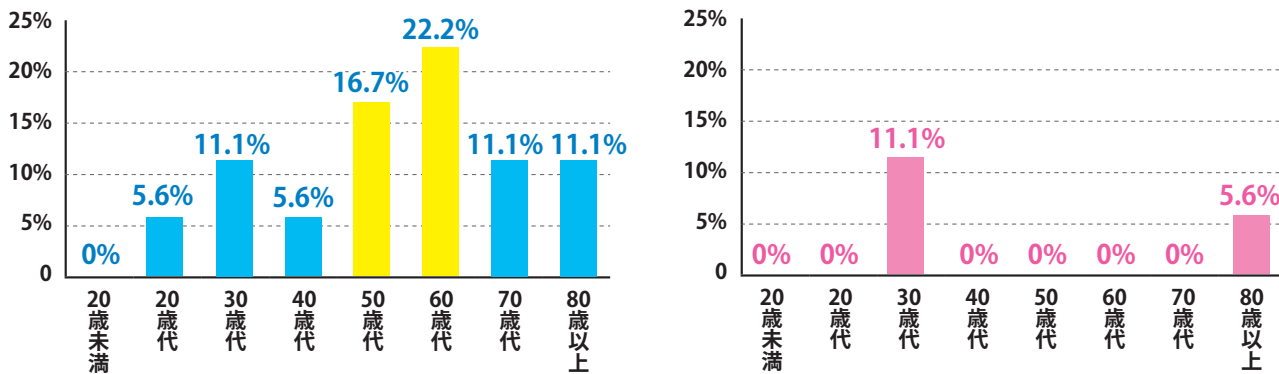
◆**図5** / 5年間（平成25年～平成29年）合計における性別の自殺者割合（自殺統計／自殺日・住居地）

区分	性別	性別割合	自殺者数合計 (H25～H29合計)	自殺死亡率 (H25～H29合計)
全国	男性	68.9%	81,928人	26.2
	女性	31.1%	36,967人	11.3
鹿児島県	男性	71.9%	1,215人	30.6
	女性	28.1%	476人	10.6
垂水市	男性	83.3%	15人	39.6
	女性	16.7%	3人	6.9

◎出典／地域自殺実態プロファイル（2018更新）全国・県・垂水市「付表3自殺者の性・年代別割合・付表4自殺者の推移（P14）」

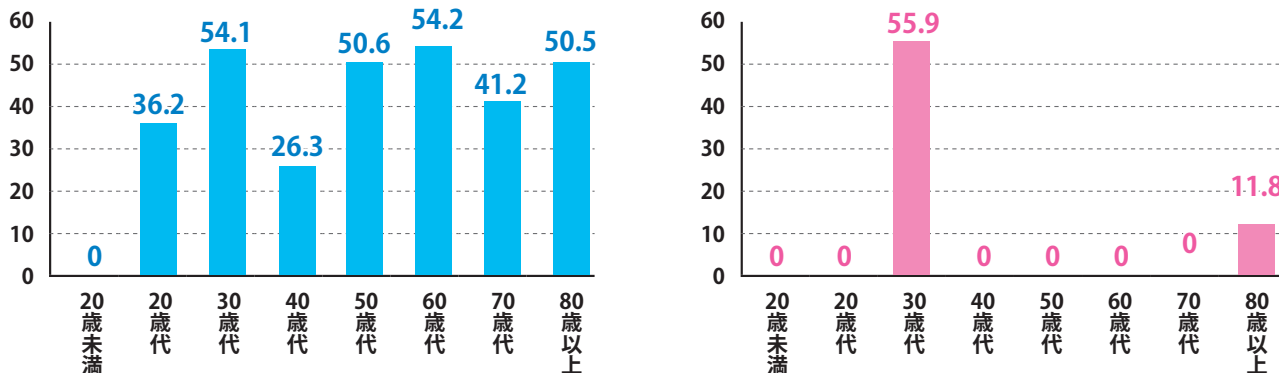
◆**図6** / 5年間（平成25年～平成29年）平均における性別・年代別の自殺者割合

（自殺統計／自殺日・住居地）◎出典／地域自殺実態プロファイル（2018更新）「全般的な状況（P3）」「付表1地域の自殺の概要（P12）」



◆**図7** / 5年間（平成25年～平成29年）平均における性別・年代別の自殺死亡率

（自殺統計／自殺日・住居地）◎出典／地域自殺実態プロファイル（2018更新）「全般的な状況（P3）」「付表1地域の自殺の概要（P12）」

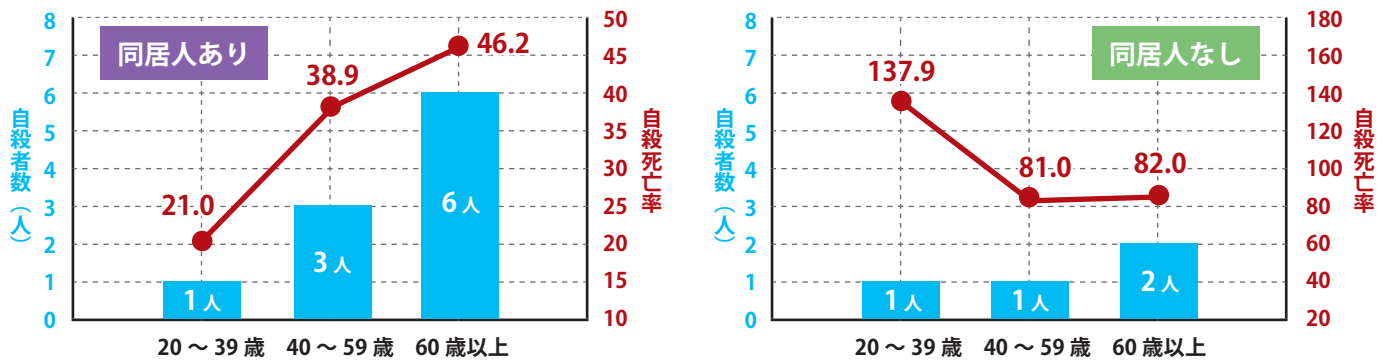


3 5年間における同居人の有無別・性別・年齢階級別の自殺者数と自殺死亡率

平成25年から平成29年の5年間において、自殺統計（自殺日・住居地）から同居人の有無別で見ると、「同居人あり」の場合、男性は年代を経るごとに自殺死亡率は高くなっています（図8）。「同居人なし」の場合、男女ともに各年齢階級の人口が異なるため、自殺死亡率の差が大きくなっています（図8・9）。

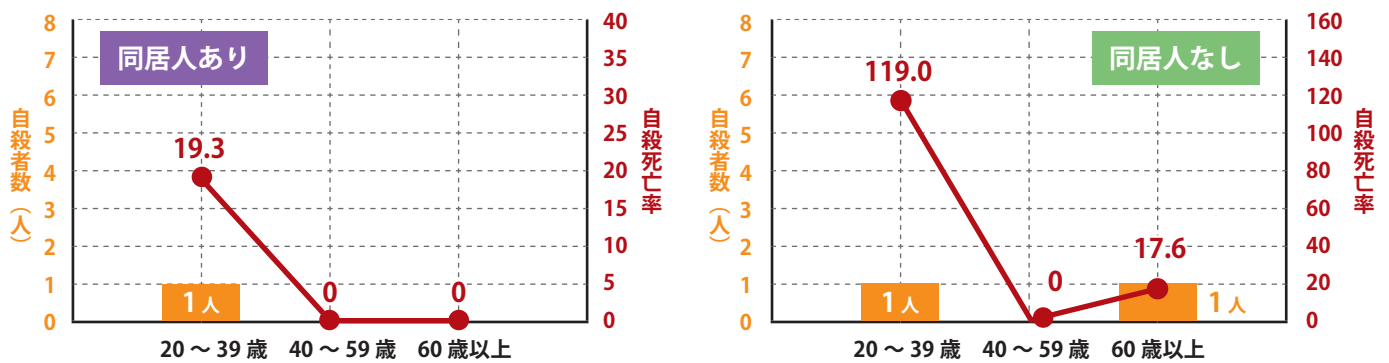
◆図8 / 【男性】5年間（平成25年～平成29年）における同居人の有無別・性別・年齢階級別の自殺者数と自殺死亡率（自殺統計／自殺日・住居地）

●出典／地域自殺実態プロファイル（2018更新）
「付表1地域の自殺の概要（H25～H29）（P12）」



◆図9 / 【女性】5年間（平成25年～平成29年）における同居人の有無別・性別・年齢階級別の自殺者数と自殺死亡率（自殺統計／自殺日・住居地）

●出典／地域自殺実態プロファイル（2018更新）
「付表1地域の自殺の概要（H25～H29）（P12）」



◆図10 / 60歳以上の自殺者内訳（自殺統計／自殺日・住居地）

●出典／地域自殺実態プロファイル（2018更新）
「60歳以上の自殺内訳／特別集計（P6）」

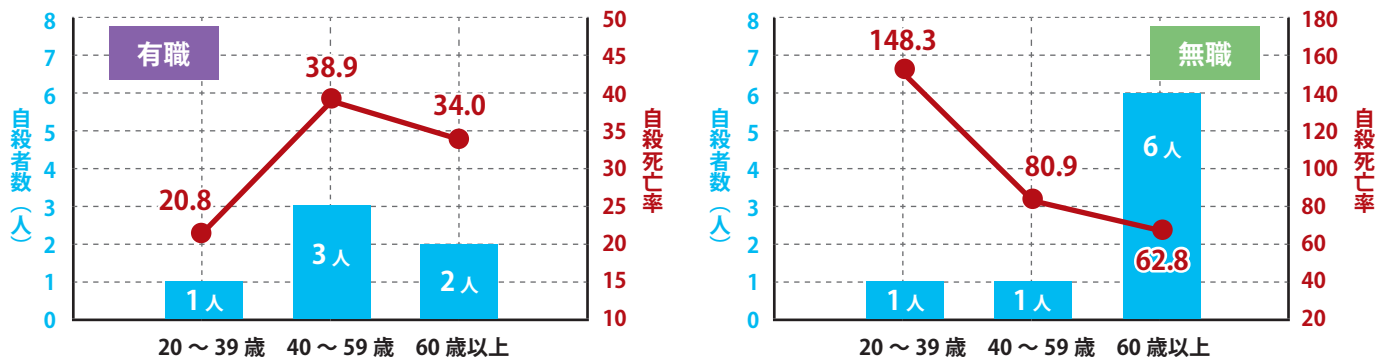
性別	年齢階級	同居人の有無 (人数)		同居人の有無 (割合)		全国割合	
		あり	なし	あり	なし	あり	なし
男性	60歳代	3	1	33.3%	11.1%	17.1%	10.8%
	70歳代	2	0	22.2%	0.0%	15.1%	6.3%
	80歳以上	1	1	11.1%	11.1%	10.4%	3.6%
女性	60歳代	0	0	0.0%	0.0%	9.7%	3.2%
	70歳代	0	0	0.0%	0.0%	9.1%	3.8%
	80歳以上	0	1	0.0%	11.1%	7.4%	3.5%
合計		9		100%		100%	

4 5年間における仕事の有無別・性別・年齢階級別の自殺者数と自殺死亡率

平成25年から平成29年の5年間において、自殺統計（自殺日・住居地）から仕事の有無別で見ると、「仕事の有無」による自殺死亡率の差が大きくなっています（図11・12）。特に男性で「無職」の場合、各年齢階級の人口が異なるため、自殺死亡率の差が特に大きくなっています（図11）。

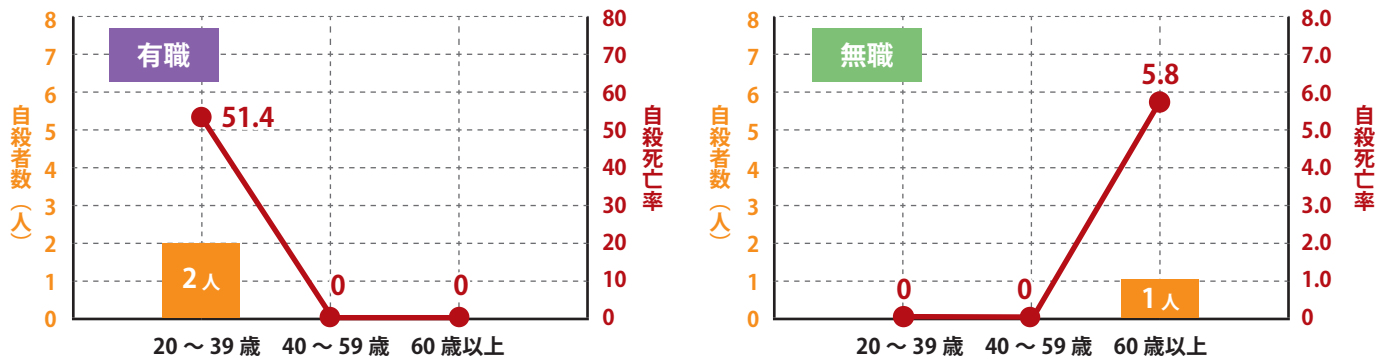
◆図11 / 【男性】5年間（平成25年～平成29年）における仕事の有無別・性別・年齢階級別の自殺者数と自殺死亡率（自殺統計／自殺日・住居地）

◎出典／地域自殺実態プロファイル（2018更新）
「付表1 地域の自殺の概要（H25～H29）（P12）」



◆図12 / 【女性】5年間（平成25年～平成29年）における仕事の有無別・性別・年齢階級別の自殺者数と自殺死亡率（自殺統計／自殺日・住居地）

◎出典／地域自殺実態プロファイル（2018更新）
「付表1 地域の自殺の概要（H25～H29）（P12）」



平成25年から平成29年の5年間における有職者の自殺者内訳を見てみると、全国割合と同様に「自営業・家族従業員」に比べ、「被雇用者・勤め人」の割合が高くなっています。（図13）

◆図13 / 有職者の自殺者内訳（自殺統計／自殺日・住居地）

◎出典／地域自殺実態プロファイル（2018更新）「有職者の自殺内訳／特別集計（P5）」

職業	自殺者数	割合	全国割合
自営業・家族従業員	2	25.0%	20.3%
被雇用者・勤め人	6	75.0%	79.7%
合計	8	100%	100%

注意

図8・9・11・12・13については、性別・年齢・同居の有無が不詳の場合は、含まれていません。そのため、自殺者数合計は「17人」となり、P9「図4」で記した5年間合計の「18人」と一致しません。

5 5年間における本市の特徴

平成25年から平成29年の5年間において、自殺統計（自殺日・住居地）から同居人の有無別や仕事の有無別等で見てみると、**男性60歳以上で、「無職者」かつ「同居人あり」の場合に自殺者数が最も高くなり、次いで男性40～59歳で、「有職者」かつ「同居人あり」の場合に自殺者数が高くなっています。**【図14・15】

これらの結果を踏まえ、本市が重点的に対策を講じる必要がある分野は、「高齢者」「生活困窮者」「勤務・経営」の3つと言えます。

◆図14 / 地域の自殺の特徴（自殺統計 / 自殺日・住居地）

●出典 / 地域自殺実態プロフィール（2018更新）
「地域の自殺の概要（P2）」

上位5区分	自殺者数	割合	自殺死亡率	背景にある主な自殺の危機経路
1位：男性60歳以上無職同居	4	22.2%	51.3	失業（退職）→生活苦＋介護の悩み（疲れ）＋身体疾患→自殺
2位：男性40～59歳有職同居	3	16.7%	44.8	配置転換→過労→職場の人間関係の悩み＋仕事の失敗→うつ状態→自殺
3位：男性60歳以上無職独居	2	11.1%	113.9	失業（退職）＋死別・離別→うつ状態→将来生活への悲観→自殺
4位：男性60歳以上有職同居	2	11.1%	38.5	①【労働者】身体疾患＋介護疲れ→アルコール依存→うつ状態→自殺 / ②【自営業】事業不振→借金＋介護疲れ→うつ状態→自殺
5位：男性40～59歳無職独居	1	5.6%	457.9	失業→生活苦→借金→うつ状態→自殺

◆図15 / 5年間（平成25年～平成29年）における同居人の有無別・仕事の有無別・性別・年齢階級別の自殺者割合と自殺死亡率（自殺統計 / 自殺日・住居地）

●出典 / 地域自殺実態プロフィール（2018更新）
「地域の自殺の概要（P2）」

